論 文 投 稿 規 定

1．本誌は「発汗学に貢献しうる総説、解説、原著、症例報告、技術レポート等の論文で他誌に発表されていないもの」を掲載する。さらに「学会総会で開催された市民公開講座の内容の要旨」を掲載する。
2．投稿者は原則として本会会員に限る。
3．研究が倫理審査委員会の審査を受け、あるいは、患者同意を得て行われた臨床研究である場合にはその旨を明記する。
4．原稿は、口語体、当用漢字、新かなづかい、ひらがなまじり、横書き、楷書とし、句読点、かっこは1字を要し、改行の際は冒頭1字分を空ける。コンピュータソフト（Word またはテキストファイル）を使用し、1行全角20字で印字すること。
5．必ず使用ソフトの形式とテキストファイル形式の両方で保存すること。
6．外国語、原語は明瞭な欧文活字体を用い、日本語化したものはカタカナを用いてよい。
7．数字は、アラビヤ数字を用い、度量衡の単位は、mm、cm、ml、g、等とする。
8．図・表は墨1色で別紙に作製する。図・表・写真には必ず番号をつけ、挿入場所を本文に赤文字で記載する。
9．図･表･写真の原図を必ず同封する。原図においてコピーしたもの、文字の欠けているもの、かすれているもの等は不鮮明な印刷になるので避けること。トレースは編集では行わない。編集委員会がトレースを必要と認めたものについては､実費を徴収する。
10. 図・表・写真の大きさは、必ずしも掲載時と同一サイズでなくてもよい。写真においてトリミングが必要な場合は、どの部分が必要か明記する。但し、データ原稿には、スペースを空けておくこと。
11. 図・表・写真の説明ならびにタイトル等はすべて英文または和文で記載し、本文とは別に図・表の説明として記載する。
12. 文献は本文中での引用順に配列して一連番号を付して一覧とする。引用文献の主なものに限り、20以内とする。引用文献一覧は次の形式で記載する。

A．雑誌の場合

引用番号）著者名（3名までとし、4名以上の場合はその他、et al とする）：題名．雑誌，巻，始頁－終頁，西暦年号

（例）

1）坂口正雄，森健治，菊池裕　その他：精神性発汗連続記録装置の開発．医用電子と生体工学，26，213-217，1988

B．単行本の場合

引用番号）著者名（3名までとし、4名以上の場合はその他、et al とする）：題名．書名，編者名，版数，巻，始頁－終頁，発行者，発行地，西暦年号

（例）

2）大橋俊夫，坂口正雄：発汗の生理，手掌部発汗の測定法，適性刺激，測定データの評価法．精神性発汗現象－測定法と臨床応用，大橋俊夫，宇尾野公義 編，3-16，スズケンケンツ事業部，名古屋，1993

13. 原著の原稿の長さは掲載4頁分。和文6000字以内とする（20字×300行以内、図・表・写真（刷り上がり1/4頁の写真は20字×22行に相当）、文献を含む）。さらに、英文要旨250語以内を添付する。超過分は実費を徴収する。
14. 掲載料は上記規定以内で無料とし、超過分ならびにカラー写真等を掲載する場合は実費を徴収する。
15. 別刷はすべて有料とする。
16. 著者の校正は1回とする。
17. 原稿の採否および掲載時期は編集委員会に一任のこと。至急掲載を希望する場合には特急掲載料を徴収する。
18. 原稿は原則として返却しない。
19. 原稿の形式
    (1) 表題
    (2) 著者名
    (3) 所属
    (4) 和文要旨（200字以内）
    (5) 英文要旨（表題、著者名、所属を含め、ダブルスペースで250語以内）
    (6) 本文（序言、実験、成績、考察、結論、文献）
    (7) 図・表の説明の順とする。
20. 原稿送付先

    埼玉医科大学脳神経内科内
    日本発汗学会　事務局
    hakkan@saitama-med.ac.jp

21. 本誌に掲載された論文の著作権は日本発汗学会に帰属する。

Presented by Medical*Online